

■教育目的

本授業では、医療面接に必要な知識・技能・態度の養成を通して、将来の臨床薬剤師としての基礎作りを行うことを目的とする。臨床薬剤師として効果的な薬物治療を行うためには、患者との医療面接は必要不可欠である。しかし、医療面接で求められる技能や治療者としての態度は、知識教育だけで習得することは難しい。そこで、本授業では講義に加えて、演習を取り入れ、知識・技能・態度をバランスよく、かつ効果的に学習していく。

〔YD -④〕

■学習到達目標

- ・医療における薬剤師の役割について理解する。(知識、技能、態度)
- ・「コミュニケーション」について正しく理解し、医療面接を行う。(知識、技能、態度)
- ・安全で最適な薬物治療を提案するために適切な患者情報を収集する。(知識、技能、態度)
- ・収集した情報を基に患者の状態を正しく評価することができる。(知識、技能、態度)
- ・評価した内容に基に個々の患者に適した薬物療法を提案する。(知識、技能、態度)

■準備学習（予習・復習）

演習の中で扱う疾患や薬物等について調べる。
SGD の課題について予習する。

■授業内容

授業は主に演習形式で進めていく。具体的には、様々なテーマについてのグループディスカッション・情報収集演習・パンフレット作成・薬物治療演習などを行う。

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	医療面接の基礎① (講義とディスカッション)	薬剤師の仕事ってなに？	A(1)-①-1,2,4 A(1)-②-1,6 A(1)-④-4 A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2
2	医療面接の基礎② (講義とディスカッション)	患者-薬剤師間のコミュニケーションってなに？	A(1)-①-1,2,4 A(1)-②-1,6 A(1)-④-4 A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2
3	医療面接の基礎③ (講義とディスカッション)	相手の全体像を理解する-この人はどんな人？	A(1)-①-1,2,4 A(1)-②-1,6 A(1)-④-4 A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2
4	薬物治療の基礎	薬物治療のプロセスについて学ぶー薬物治療はどうやるの？	A(1)-②-3 A(1)-②-6 E3(1)-⑦-1 E3(1)-⑦-2
5	パンフレットの作成	肌荒れ（手荒れ）と水虫へ薬物治療に必要な情報を収集し、患者向けのパンフレットを作成する。	A(5)-①-3,4,5
6	演習 医療面談、薬物治療演習準備（グループ演習）	8-12の個人演習向けに、グループで医療面談および薬物治療の練習をする。	A(1)-①-1,2 A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2
7-11	演習 医療面談演習（個人演習）	手荒れ、水虫の患者症例に対して、薬剤師として医療面談および薬物治療を実践する。	A(1)-①-1,2 A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2
12	SGD	地域包括ケアにおいて、薬局が地域の健康ステーションとして機能するための方策について検討する。	A(1)-①-1,2 A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2
13	発表	12の検討内容について発表する。	A(1)-①-1,2 A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2

No.	項目	授業内容	SBO コード
14	DVD「薬剤師物語」の視聴	薬剤師物語（DVD）の視聴し、将来の薬剤師像を明確にする。	A(1)-②-1,6 A(1)-④-4 A(5)-②-1
15	外部講師による講義	医療現場で働く薬剤師さんと話をしよう。	A(4)-①-2,3 A(1)-④-4

■ 授業分担者

町田いづみ、伊東明彦

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

期末試験（25％）

出席状況・授業態度（25％）

演習参加・態度（25％）

レポート他提出物（25％）

■ 教科書

必要な資料は授業ごとに配布する。

■ その他

演習中心の授業となるため、全出席を基本とし、正当な理由のない遅刻は認めない（欠席と遅刻は1回につき5点の減点）。演習への積極的な参加を必要とする。